

事業所名		ラポール発達教室				支援プログラム（参考様式）		作成日	2024 年	10 月	11 日
法人（事業所）理念		あなたに会いたい。あなたを知りたい。あなたと一緒に笑いたい。									
支援方針		・子ども一人ひとりに合わせた支援プランを立て、子どもの可能性を伸ばし、就学に向けて支援を行っていく。 ・「大好き」な遊びを通して「わかる！」「できる！」「もっとやりたい！」という気持ちを育て、子どもの発達と成長を促していく。 ・一つ一つの事柄について、本人の発達段階や特性に合わせた療育を行い「概念」を作っていく。									
営業時間		10 時	00 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	安定して楽しく通うことができる。 ・始めと終わりを決める。療育の枠組みを一定にして、慣れていけるようにする。 ・楽しい遊びを通して療育者との信頼関係を作る。									
	運動・感覚	様々な動きや遊具、道具を使う遊びを通して自分の身体の使い方を知る。 ・必要な感覚を満たす。 ・粗大運動遊びを通して、自分のボディイメージを育てる。 ・ふれあい遊び、手あそび、踊り、リトミック、サーキット遊びなど身体を動かす遊びを行う。 ・生活に必要な動作を学ぶ。									
	認知・行動	本人の世界を広げて、行動範囲を広げ、分かることや行動できることを増やす。 ・物を使った感覚遊びを十分に満たす。 ・物を通して人とかかわる。身の回りの物を知り、いろいろな物に触れながら知っていく。 ・物の用途を知る。物の使い方を知る。物を介した遊び方を広げる。物を合わせたり構成したりして遊ぶ。物を組み合わせて遊ぶ経験を積む。 ・数や形など身近な事柄についての概念を育てる。 ・描くことの楽しさを味わう。本人に合わせた筆記用具を使いながら、いろいろな線を描くことを楽しむ。									
	言語 コミュニケーション	本人が伝えやすい方法で、相手に伝わる適切なコミュニケーションが取れる。 ・ジェスチャー、指差し等での人に対する要求方法を育てる。 ・語彙を増やし、やりとりの言葉を育てる。話すことを楽しむ。相手の質問に答える。 ・形容詞、動詞、助詞を学ぶ。簡単な文型に沿って文で話すことを学ぶ。一つのテーマに沿って話を続ける。 相手の言う事を理解して行動する。 ・視覚的に分かりやすい方法を用いて、理解して行動できることを増やす。 ・本人のエピソードに合わせて物語を作り、視覚的に本人が分かるようにする。 ・ロールプレイやゲームを通して、実際に体験していくことを重視する。									
本人支援	人間関係 社会性	集団生活、社会生活に必要な人間関係の基礎や社会性を学ぶ。 ・人とかかわることの楽しさを知る。 ・信頼関係を通して、模倣を育てる。 ・待つ、順番に行う、一定のリズムのある課題に取り組む等の経験を通して、相手のペースに合わせることを学ぶ。 ・挨拶、お礼、人と遊ぶ時等のやりとりの言葉を学ぶ。 ・小グループでお友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り、協力したり、簡単なルールのある遊びに取り組む。 ・集団の中で、自分の意見を伝える経験を持ったり、相手に譲ったり、相手の意見を聞いたりする経験をする。 ・気持ちの言葉を知り、ラベリングを行い、自分の気持ちを整理して伝えたり、負けたりうまくいかない時の気持ちの切りかえ方を学ぶ。 ・様々なパターンを覚え、自分で考えて行動していく基礎を作る。									
	家族支援	保護者の相談に乗ったり、子育てサポート等を通して療育の様子を見ていただき話をしたりしながら、子どもの特性やかかわり方について家族と一緒に考える。					移行支援	就園や就学に向けて、必要なことを療育の内容に取り入れて、スムーズな移行を目指す。			

地域支援・地域連携	必要に応じて、相談機関や通所先などと連携していく。保育所等訪問支援などの活用も提案する。	職員の質の向上	月1回程度：事業所内研修や、その他必要な研修（随時）を行っている。資格支援制度があり、職員の資格取得を補助している。
主な行事等	季節のイベント等は特に行っていないが、活動に季節感を感じられるような内容を取り入れている。		